

【知】自ら学び、考え、進んで行動する人

【徳】互いを尊重し、協力する人

【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 TEL 3399-2196

生徒が考え、生徒が選び、生徒が作る体育大会

校長 香西雅斗

雨の多かった7月とはうって変わり、真夏の日差しが照り付ける8月でした。暑さは続いています。科学と自然の散歩みちでは、蟬に変わり秋の虫の音が聞こえてきました。

さて、2学期が始まり、1年生の何人かから「友達がいないのでちょっとつらい」という声が聞こえてきました。教室ではクラスメートと和やかに話している様子なのですが、本人としては“ずっと気を使いながら接している”“親しい友達になれていない”のだと思います。例年なら1学期に体育大会やフレンドシップスクールなどがあり、お互いに理解を深め、ぶつかり合い傷つくこともありながらも、自己開示と他者理解を進め、自分の立ち位置を確立していったのだと思います。改めて行事などの特別活動の意義を、ひしひしと感じています。

2学期の中瀬中の方向性については、PTAの運営便りに細かい説明を載せました。基本は「杉並区立学校感染症予防ガイドライン（令和2年7月修正追加）に則って、十分に対策しながら、教科の学習、行事や委員会などの特別活動を、可能な限り進めていく」です。

大切なのは過去に戻るのではなく、「**生徒に「～させる学校」から生徒が「～する」学校へ、中瀬中学校を離陸させる**」ことです。これこそが本校の今年度からの取り組みです。新型コロナウイルスというピンチを、中瀬中の離陸を押し進めるチャンスにしていこうと考えています。

その一つが10月2日予定の体育大会です。学校通信の399号で呼びかけた「みんなの知恵を集め『新しい中瀬中の体育大会』を作ろう」に、たくさんの生徒のアイデアが集まりました。それを今、生徒会役員と体育大会実行委員で練り上げています。（生徒のアイデアは裏面で紹介）

生徒の声の中の「**水まきや用具の消毒などの準備をするのも大事な役、そういう形で、全員が参加して体育大会を作っていきたい**」という意見は重要なポイントだと考えます。

昨年6月の学校便りで触れた様に「**運動が苦手な子を苦しめる運動会を行う意義はあるのか**」「**いつまで運動会を行うのか**。」という最近の議論に対し、中瀬中は『**応援**』で答えてきました。

今年はさらに一歩進め「**個人競技に必ず参加させる**」のではなく「**生徒が選んで挑戦する**」**体育大会**にします。個人競技にエントリーしない生徒もいますが、応援や係準備を行うことも、競技に参加するのと同じくらい、大事な参加の形ではないでしょうか。

また生徒の声も多かった、全員リレーやダンスなど、学級や学年でなければできない団体種目や演技は“みんなで共通の体験をし、互いに理解を深める”意味でも実施します。

「**挑戦する者をたたえ、裏方で支えている者をみんなで認める**」

「**運動が不得意な者が、辛いことが多かったけど団体種目・演技をやって良かったと思える**」

「**個人種目にエントリーしない者が肩身の狭い思いをしない**」

そんな体育大会を、みんなで作っていきましょう！

【生徒への問題提起】

今年度の体育大会がこれまでの様には行えそうもないことは、生徒の皆さんにも見えてきていると思います。本当に残念ですが、感染拡大予防のため、

* ムカデ競争や大縄跳びなどは、そもそも練習すら難しい ⇒ 色別、組で総合得点を競う競技の数は揃うのか

* 密集できない生徒席～1m以上離す ⇒ 入場行進が難しい

* リレーで使うバトンはどうするの？ 共有するから消毒？ バトンタッチのたびに消毒は無理でしょ・・・

など、難題が続出。

ここで、発想を逆転！ 互いに応援し合い、認め合い、みんなで楽しめる「コロナだからできる体育大会」のアイデアを募集します。みんなのアイデアは生徒会役員にも伝えます。みんなのアイデアをできるだけ生かし、時代の旗印（フラッグシップ）となる『新しい運動会』を作っていきます。

10月2日（金）の午前中3時間分のメニューを考えてください。

～生徒から寄せられたアイデア～

1、種目

- 男女別集団行動&ダンス
- しっぽ取り
- タイヤ引き
- 部活対抗リレー
- ダンス
- ビーチフラッグ
- 気配斬り
- スプーンの上にピンポン玉を乗せてリレー
- 持参したお玉の上にピンポンかテニスのボールを乗せてリレー←落としたりしたらお玉で拾って再開
- フラフープ
- 変形スタートダッシュ 30m←隣のコースは空ける
- 二重跳び
- シャトルランリレー←隣のコースは空ける
- パン取り競争
- 縄跳びリレー
- ○×クイズ 問題を聞いたなら両手間隔に広がりながら移動。間違えた人は自分の席に戻る。
- 万歩計合戦。万歩計を身につけて、一人ひとりが1分間(仮)どれだけ多く足踏みを刻み、歩数をかせげるか？を競う。
- リレーはバトンパスでなく、バトンタッチ。次の人もバトンを持ち、自分の持っているバトンで次の人のバトンにタッチをすればいい。走り終わった人の持っているバトンを消毒し、次の走者にわたす。
- バトンをボールにして投げて渡すリレー・【リレー】
 - ① 水鉄砲を持って走る。走者の背中到的を付けておき、バトンパスの代わりに、次の走者の背中の到的に、水がかかればOKにする。
 - ② テイクオーバーゾーンに各チームカラーの風船を設置。走者はゾーン内で風船を割る。割れたら、次の走者がスタート！
- リレー形式。タイヤにソーシャルディスタンスが保てるロープをつけ、二人組で一人がタイヤに座って乗り、もう一人がロープを引く。•バトンの代わりに消毒スプレーを持って走り、渡す時に次のランナーの手に吹きかけるようにすれば
- リレーは軍手 or 手袋で
- 代表者による全員へ向けての応援合戦。応援団は有志を募るか実行委員が担当する。応援団同士の距離はフィールドを大きく使い確保する。代表以外は手拍子などで参加。
- ①「ソーシャルディスタンス ～でも心はひとつに～」 男女それぞれでクラス対抗 4色のビニール傘を用意。お手玉、またはガムテープで作ったボールを傘を使ってつぎの人に渡ししていく。傘をさした状態で回すか？ 傘をさかさまにして渡していくか？ どちらかの方法で早くゴールしたチームが勝ち。
- ②3年生は最後の学年なので、クラス対抗リレーをしたい。リレーのやり方はいつもと同じ。感染対策：消毒したバトンを利用、走り終わった人は、その場で手のアルコール消毒。競技終了後、全員手を洗う。最後にバトンは消毒する。
- ①リレー→バトンの代わりに各自ペットボトルを用意する。ペットボトルを次の走者に当てて次の走者がスタートする。
 - ②応援合戦→声を出さずに拍手や足踏みなどのボディーパーカッションで応援する。
 - ③チームジャンプ→クリアファイルとセロテープを使ってフェイスシールドを作り、チームジャンプをする。
- 十字綱引き “ひとつのクラスを男女半分ずつに分け2チーム作る。1試合で4チーム対戦できるので各学年2回戦で勝敗を分ける。綱はその都度消毒し試合中のソーシャルディスタンスも確保する。”

2、形

- ・ダンスは全員参加。その他の徒競走などは自由参加（エントリー形式）。応援:掛け声のみ。配置:スタンドも使用してソーシャルディスタンス。
- ・生徒は南門の方に前回より散らばって場所を取る。披露スペースは前回と同じぐらいにする。観客席は前回より気持ち北と南に広げる。応援は少し控える、旗もなしにしないと場所がないから無しにする。全校集会は、密なので無しにする。こうすればある程度問題はないと思います。”
- ・クラス対抗の全員リレーはやりたい。でもそれ以外の競技は、時間も短し、オープン参加がいいと思う。**水まきや、用具の消毒などの準備するのも、大事な役だから、そういう形で、全員が参加して体育大会を作っていきたい。**
- ・1クラスを何チームかに分けて脱落したら交代する制度にすればできる。応援は動いてる人以外で。席は端に寄せる。
- ・1クラスを何チームかに分けて脱落したら交代する制度にすればできる。応援は動いてる人以外で。席は端に寄せる。
- ・部活対抗リレーはユニフォームなどを着用（ない人は体育着）で文化部と運動部に分けてやる。

- ・応援はうちわで
- ・あらかじめ1人ずつ応援コールを録音しておいて、本番に流す。当日は声をできるだけ出さない。
- ・応援の時に各自がチームカラーのボンボンを持って応援すれば、飛沫感染の拡大は小さく出来ると思います。
- ・各自が生徒席で日傘をさすことで暑さ対策もできて、ソーシャルディスタンスも保つことが出来ると思います
- ・あらかじめ1人ずつ応援コールを録音しておいて、本番に流す。当日は声をできるだけ出さない。
- ・応援はリズム拍手の呼応で、3・3・7拍子などを刻み合う。
- ・①座席は前後ずらして南門ぎりぎりまで使う。
②よく工事の人たちが、使っている、席に座っているときは、口元だけに透明なプラスチックがついているのを全員つけておく。麻生大臣が使っていたようなもの 透明マスクをつけておく
③保護者の方に警備などお願いして、観覧できる教室を何力所か開放し、保護者の観覧席を増やす
④各クラス席にアルコールを置く、各自で除菌グッズを持参する。

生徒達の柔軟な発想や本質を突いた見方に、感心させられました。現在 [オープン参加の 50m,100m,50mH,1000m(女子),1500m(男子)走] 以外に、生徒のアイデアにあった [バトンタッチによる全員リレーと選抜リレー] [1・2年生全員と3年生全員によるダンス] [部活対抗リレー] のプログラム入りが決まり、もう1種類の学年種目などを検討しているところです。



<ボランティア部活動 側溝の砂上げ>

注1) アイデアの中の「手袋」ですが、それだけで感染予防とはなりません。走っている時、マスクは基本しません。自分の呼気の飛沫がバトンにつき、それを次の人が手袋で触ります。その手袋で、例えば顔の汗をぬぐえば、接触感染に繋がるわけです。

注2) 体育大会は屋外で行うので「マスクをして」「周囲と十分離れて」行う応援なら、飛沫感染の可能性は、かなり低く抑えられます。(円陣や掛け声の様に、近くで向かい合って大声で行う応援は危険度が高い)

最後に、アイデアとともに寄せられた生徒たちからのメッセージを紹介します。

3、メッセージ

「先生方、勤務お疲れ様です。感染拡大に注意して頑張ってください！」
「体育大会開催できるようにみんなで協力して感染を防ぎましょう！」
「とにかく体育祭をやりたいです！！」
「コロナ対策をしっかりとって、体育大会ができるのを楽しみにしています。」
「なるべくクラス対抗リレーがいい。クラスメートと仲、絆を深めたいから」

「学校で感染が広がらないよう、頑張りましょう！」
「先生方、いつも消毒などをしてくださり、本当にありがとうございます。」
「この状況の中でも諦めず、新しい形を生み出すチャンスをくださり、ありがとうございます！初めての中瀬体育大会を楽しみたいです」
「新しい時代の体育大会。みんなで創りましょう。」
「中学校最後なので、体育大会をやりたいです。」
「運動会みんなで協力して成功させたいです！」

注3) 保護者の参観について。

生徒席の間隔を十分にとるために校庭東側のひな壇も使用します。教室は生徒の昼食場所でもあり、保護者の観覧スペースとしては使えません。観覧スペースはひな壇より後ろから校庭の早稲田通り沿いとなり、例年より狭くなるので、各家庭一人まででお願いいたします。何かあれば副校長までご相談ください。

生徒会役員選挙

8月28日（金）の受付開始に始まった令和2年度の生徒会役員選挙は、会長1人、2年生役員に6人、1年生役員に5人の立候補があり、久しぶりの激戦となり、朝の選挙運動も日を追って盛り上がりを見せました。



＜朝の玄関前の選挙運動＞

今年度は全校そろっての体育館で立会演説会はできないので、あらかじめビデオに録った選挙演説を、9月8日（火）の6時間目に教室で見て投票しました。

選出された新役員と抱負「こんな中瀬中にしたい」を紹介します。

＜会長＞	西山 明里（2C）	「全校生徒が通いたいと思う中瀬中」
＜役員＞	國分 信太朗（2D）	「挨拶であふれた中瀬中」
	堀内 瑠之介（2B）	「SDGsの達成に努め社会貢献ができる中瀬中」
	小山 流聖（2B）	「ルールを改革し、自由な中瀬中」
	椿 一京（1B）	「挨拶ができる、笑顔の中瀬中」
	村上 ひなの（1A）	「コロナ・校舎改築など変革の時、活気にあふれる中瀬中」
	難波 和花（1D）	「いじめのない、調和のとれた、明るい楽しい中瀬中」

生徒会役員を含め、後期の活動は11月からです。

今後の予定と諸連絡

【1】9月26日の土曜授業について

ここ数年、留学生を招き体育館で全校生徒とグループワークを行ってきましたが、今年は留学生も来日できない状況で、残念ながら交流はできません。その代わりに“マイクロソフトチーム”を使って、オンライン学活を試行します。4時間目に各クラスでやり方を説明、給食後に家に帰ってからの取組です。



＜体育大会実行委員会＞

初めての試みですが、今後は臨時休業の時だけでなく、日常的に使用していくことも予想されます。

【2】田端 真希 先生が産休に入ります

3Cの担任で3年生の英語を担当している田端先生が9月26日より産休に入ります。3Cの担任は学年主任の阪井先生が兼任し、3年生の英語は、昨年度まで神田女学院で中学生と高校生に英語を教えていた石井ひろ子先生が産休代替の教員として担当します。石井先生は、英検の面接官も務められていたベテランの先生です。

【3】英検・漢検について

昨年度まで学校支援本部『結』が、本校を準会場として英検・漢検を実施していましたが、本年度は感染症予防のため、本校での実施は見送ることになりました。なお英検・漢検については、その同等な検定で、コンピューターを使っての英検CBT・漢検CBTがあります。授業でも周知していますが、詳しくはそれぞれのホームページを参照してください。

【4】音楽発表会について

杉並公会堂を使用する時は、席数の制限（約500）、公会堂内での飲食禁止、座席に違う人が座る時は1時間かけて公会堂スタッフが消毒などの制約がありますが、練習時を含めて工夫を行い、実施する方向で検討を進めています。ただ席数の制限から、保護者の観覧はできません（少数の係を除き）。

体育大会と音楽発表会については校外学習や宿泊行事と異なり、参加確認はしていませんでしたが、今年度は参加確認を行います。ご承知おきください。